



民 営化で保育園はどう変わるの？

保育士や職員がすべて入れ替わることで
子どもは混乱し傷つきます

保育園の民営化は、公務員である保育士がある日を境にすべて入れ替わってしまいます。このことが、子どもをどれだけ混乱させ傷つけるでしょうか？

保育は、人間関係です。

子どもたちは、長い時間かけて、保育士と信頼関係を築きます。その辺が民営化によって断ち切られ、子どもは信頼できる保育士を奪われてしまうのです。

民営化された全国各地の保育園では、保育園をやめると書いて母親を困らせた、夜泣きが始まった、円形脱毛症ができた、保育園からぬけ出して家に帰った、子どもたちのけがが増えた、などなど、多くの例が報告されています。民営化が理解できない幼い子どもたちは、自分が悪い子だったから先生が変わってしまった、または自分のことが嫌いだからなくなってしまったと、受け止めてしまうことがほとんどだそうです。

毎朝の長い時間を保育園で過ごす子どもたちにとって、大好きな先生たちは、昔のいるままより、新しいおもちゃより、何よりもかけがえのない存在です。

民営化された新しい保育園の保育士も 経験不足や引き継ぎ不足により混乱します

混乱するのは、子どもたちだけではありません。

民営化された新しい保育園の保育士たちも、新しい上司、新しい同僚の中で、信頼していた保育士と離れ離れになり不安定になっている子どもたちの保育をすることになります。

引き継ぎが不充分だったことにより、障がいのある子が適切に扱われなかっただ例、保育士により虐待が行われた例（共に大田区）、おさんぽにも行けず、食事も満足に与えられなかっただ例（練馬区）など、保護者としてとても容認できない事例が数多く報告されています。



保育園の運営費の90%は人件費です。

民営化で人件費をカットし、安上がりな保育を目指すことが、子どものためになるのでしょうか？

民

営化の理由、小平市の場合は？

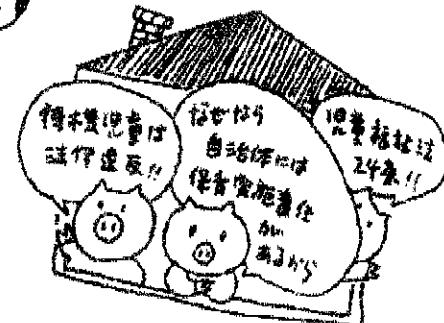
財政が理由ではなく
公立保育園の役割の充実のため？

小平市は、今回の民営化計画の目的はコストダウンではなく、公立保育園の役割の充実のため、と主張しています。

鈴木保育園を廃園にし、保育士を他の公立保育園や子育て支援サービスに充てることで、一時保育や病児保育を実現させる計画だとています。

しかし現在、公立保育園はどこも定員オーバーで敷地面積に余裕もなく、たとえ保育士の配置があったとしても園舎の建て増しをしないことには、一時保育も病児保育も実現不可能な状態。それなのに、公立園の建て増し計画については、白紙状態です。

また小平市では、隣がいのある子どもは公立保育園で受け入れていますが、鈴木保育園がなくなってしまったら、近隣に住む隣がい児は、行き場をなくしてしまいます。



公立保育園の役割の充実と言いながら、公立保育園を1つ無くすのでは、本末転倒です。

特に鈴木保育園のある花小金井地区は、特に待機児童も多い地域です。

鈴木保育園は公立のまま残し、新しい私立保育園を作ることこそが保護者のニーズであり、小平市が真っ先に取り組むことではないでしょうか？



公立保育園と私立保育園は、どちらが優れているというようなものではなく、それそれによいところがあり役割が違います。

保育の底辺を支え、保護者の選択の機会を担保する公立園、保護者の選択の上に、より保育の個性を伸ばしていく私立園、どちらも必要なのです。どちらかを減らしてどちらかを増やしていいというわけではありません。それぞれ担っている役割が違うので、お互いに連携を取って、その地域全体の保育の質を高めていくことがベストではないでしょうか。

もちろん、たくさんの個性的な私立保育園ができるることは、とてもよいことです。

理想は、公立でも私立でも、好きな保育園を選べることだと想います。



署名にご協力お願いします！！



昨年(2010年)秋に行われた民営化に対するパブリックコメントでは、120件中、明確な賛成は1件のみ、残りは反対または不妥を感じるというものでした。

また、民営化計画の1園目である鈴木保育園の保護者アンケート(2011年夏実施)では、全114世帯のうち、賛成6、反対69、わからない26、未回答13という結果が出ています。

小平市が主催している、鈴木保育園への保護者説明会、公立10園の保護者を対象とした意見交換会でも、保護者の納得を得ないまま民営化を強行する市の姿勢に、強い不安の声があがっています。

子どもたちの大好きな鈴木保育園を守り、保育だけにとどまらない小平の子育て環境をもっとよくするための署名に、ぜひご協力お願いいたします。

